

間接疑問でつまずくのは語順そのものではなく、「疑問文なのに、なぜ戻すのか」が腑に落ちないところです。操作として教えると、次の時間にはふつうの疑問文まで巻き添えて崩れます。この授業案は、答えが教室の中から出てこない質問を1つずつ持って歩かせて、Do you know ～? が必要になる場面を先に作ります。語順は、そのあとに1行で片づきます。

この教材で解決できる悩み

- Do you know where does he live? の does が最後まで消えない
- 間接疑問を習ったとたん、ふつうの疑問文の語順まで崩れる
- 間接疑問を中2で扱うのはONE WORLDだけで、中3向けの教材しか見つからない

教材の概要

項目	内容
対象	中学2年（ONE WORLD 2 Lesson 8。中3の学び直しにも）
文法項目	間接疑問（疑問詞＋主語＋動詞。Do you know ～? ／ I don't know ～.）
形式	授業案A4（印刷版PDF・板書例つき）
所要時間	50分×1コマ
準備物	なし（先生が答えを1つだけ用意しておく）

授業の流れ（50分）

導入：3つ目の質問で、教室が止まる（10分）

英語で3つ続けて聞きます。答えられた人は手を挙げて、と言い添えて。

What time is it now? （すぐ手が挙がる）

Where is the teachers' room? （すぐ手が挙がる）

What time does the last bus leave from the school gate? （手が挙がらない）

3つ目で教室が止まります。そこで日本語に切り替えて、「いまの3つ目、答えを持っている人はこの教室にいた？」と確かめます。いない。「じゃあ、だれなら知ってる？」—職員室の先生、バス会社、家の人。名前が出そろったところで、板書に移ります。こういう質問は、答えを持っていそうな人に**そのままぶつけない**言い方があります。

気づき：たずねているのは、どっち？（10分）

板書は2行だけです。

What time does the last bus leave? ← バスの時刻をたずねている

Do you know [what time the last bus leaves]? ← たずねているのは「知ってる？」のほう

押さえるのは3つ。①Do you know ～? は Yes か No で答えられる質問—つまり、たずねているのは「知っている?」であって、[] の中身はもうたずねていない。②だから中身はふつうの文の形に戻る。What time is it? の is も、[what time it is]。③たずねる形をやめた does は消えたのではなく、動詞にくっついて帰ってきます。leave → **leaves**、過去なら did が消えて went。

最後に「?」の居場所を確認します。文の終わりの「?」は [] の中身のものではなく、外側の Do you know のものです。ここまで板書に残しておくと、あとの活動で指1本で直せます。

展開：だれか知ってる? (22分)

各自ノートに1つだけ、この教室の中では答えが出てこない質問を英語で書きます。すぐ隣にきけば済む質問は使えない、が唯一のルールです。書き出しは Do you know where ～ lives? / what time ～ starts? / why ～ is ～? / how many ～ there are in ～? を板書して選ばせます。机間指導で見るのは1点だけ— [] の中がふつうの語順になっているか。does / did が残っていたら、板書の「?」を指さして返します。

できたら立ち歩いて5人にたずねます。答える側にも型を渡しておくのがこの活動の要です。知っていれば Yes, I do. + 知っていることを1文。知らなければ **I don't know where he lives.** と返す—知らなくても文が1つ完成するので、答えが分からない生徒が黙って終わることがありません。ここで箱が2つに増えます。Do you know []? と I don't know [] . は、中身の形が同じです。

5人にきいても答えが出なかった質問を、黒板に英語のまま並べます。クラス全員で知らないことの一覧です。最後に先生が、そのうちの1つだけ答えを言います。答えが出た瞬間の「おお」が、この文型の使いどころそのものです。

まとめ：[] の中を見る (8分)

自分の質問を清書して提出。見るのは2つ—① [] の中に does / did / is の倒置が残っていないか、②「?」が文の終わりに1つだけあるか。ONE WORLDのLesson 8は want / tell / ask + 人 + to不定詞も同じ課で扱いますが、導入の日には混ぜません。今日は箱ひとつで手いっぱいです。

×Do you know what time is it? は、その場で×をつけずに板書の [] を指さして「いま、たずねているのはどっち?」と返してください。「知ってる?のほう」と生徒が言えたら、語順は自分で直ります。なお、疑問詞が主語になる Do you know who broke the window? (語順が動かない形) と、if / whether を使う形は今日は出しません—前者はドリルの対話問題に、後者は教科書の進度に合わせて別の日に預けます。

定着・入試への接続

書く練習は間接疑問の定着ドリル 中2版へ—ふつうの疑問文が正解の問題をわざと混ぜて「箱に入ったときだけ戻す」を正確に固め、消えた does の行き先と、疑問詞が主語のときの語順まで扱います。中3で受験期に復習するなら間接疑問導入『クイズショー Do you know what this is?』が、同じ型を大量に浴びる別ルートです。全体像は間接疑問の教え方ガイドにまとめてあります。

